

--[目次]-----

[1] 応援しています -卒業生の声

[2] [緊急シンポジウム 2003.02.08 発言録]へのコメント

[3] 次号予告: 2月8日「緊急シンポジウム - 市大の将来を考える」
に寄せられた文書発言 (Part 2.)

[1] 応援しています -卒業生の声

矢吹先生、長春の中新井です。一月から出張、旅行（春節休暇を利用）と続き、本日長春に戻りました。先生のホームページを拝見しました。横浜市と上海市の姉妹都市交流活動で夏休みを利用して上海に1ヵ月、市大の仲間と短期留学したのが10年前。よほど中国と縁があるのでしょうか、市大を卒業してからの7年間のうち、4年半を中国で過ごしています。前回の中国滞在は青年海外協力隊からの派遣でしたが、今回は、国際交流基金からの派遣で、外国人でありながら、省機関で中等（日本語）教育に深く関わらせてもらっています。日本語教育という一つの外国語教育を通して、中国の人と日本の人がお互いを知り、お互いの共通点と相違点を認め合えることに微力でも貢献できればと思います、日々過ごしています。このような今の自分は、学際的で自由な雰囲気のある横浜市大に進み、横浜という国際的な雰囲気のある街に暮らしたことが大きく影響していると思います。その母校が厳しい状況に直面しているのを知り、驚きました。市大の存続を強く望みます。それと同時に、今の状況が、逆により魅力的で、かつ市民に開かれた大学へ変革する契機になることを中国長春より応援しています。また、「市大を考える市民の会」通信を発行されること、ぜひこちらにもお送りいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

中新井綾子（国際交流基金・青年日本語教師）130022 中国吉林省長春市人民大街173号
吉林省教育学院初中部外語教研室 +86-(0)431-5384466（事務室）、+86-(0)431-5302641
（自宅）ayakonakaarai@hotmail.com nakaarai@mail.jl.cn

[2] [緊急シンポジウム 2003.02.08 発言録]へのコメント

[a] 商学部卒業生 重岡 理恵(2月17日到着)

矢吹先生、「答案案」等、送付いただき、ありがとうございました。結局、座長私案とさして変わらない改革案。彼らの考え方が、先日のシンポジウムで出された意見といかに乖離しているか、改めて感じました。神奈川新聞の最後の段が気になったのですが、「将来構想委員会」というのも、事務局がコントロールしているのでしょうか。（松井先生の報告にもありましたので、そうだと理解していますが）「われわれが作った大枠（改革案）も、座長の私案と重なる部分はある。改革はわれわれ自身でもできると確信している」と主張した一とありますが、これは何を意味しているのかと、ひっかかりました。大学の主権を取り戻そうという主張か、それとも、大学内でも改革を考えているというポーズにすぎないのか・・・。後者だとしたら、外も内も行政主導ですでに固められている（？）ということなのでしょうか。ところで、今回のシンポジウム議事録やこれまでの大学を巡る議論について友人に送ったところ、地方に住む同級生から返信がありました。いろいろと意見・感想を書いてくれましたので、ご参考まで送付いたします。本人には、「OBから

ということで、先生方に伝えてもいいか」と聞いたところ、「もちろん」という返事をいただいています。彼の「穿った見方（保身を考えている先生方）」については、私なりに反論しました。カチンとくることもあります、反応のない同級生が多い中、ありがたいです。確かに、「こうあるべき」という話から、具体的に何をどうするか、行動を決めなくてはならないと感じました。市大OBから市会議員を・・・という行がどなたかの発言中に引用されておりましたがテクニカル的には重要なことですね。議会の動きというのはきちんと捕らえておくべきですね一方では市民に対するアピールと改革が必要なんではないでしょうか？ たしか矢吹先生のHP上で教員が事務局に対して意見したところ

「教員は商品であるから商品が経営に口出しするのはおかしい」といった内容の行があったと思うがこれがそもそもの考え方の間違いだと思う。思うに、**商品は学生であって教員は設備、顧客は社会だ。時代に則した実務ばかりを教え込むというのでは専門学校と大して変わらなくなるが、基礎と応用、理想と現実は双方重要ではないか？** 財界から社会から今求められている要素を取り入れる努力はすべきだ。小生達が学生時代を過ごしたのはバブルの全盛期。とりあえず就職はすんなりできたものの今困っている人は多いよね。こんな時にこそ「さすが市大の学生」といわれるような学生を排出できる大学でなければ・・・非常に穿った見方をすれば**教員人は身の保身をOBは無責任な存続論だけを訴えているようにも思える。問題の真意が見えてこない 金がないから廃校にするのか？であれば金を調達しないとイケない。設置意義があれば金は出すのか？意義とはなんなのか考え直す必要はある。市は何を考えているのか？ 論点がよく分からない・・・市がやっているのは結局「金」でしょ。今までの過剰投資の責任追及はすべき。これが前提じゃあないの？** これからのこととは別だよ。その上でいったいいくらなら市民の理解を得られるの？ ところが肝心なんじゃないの？ 机上の理想論展開しても意味無いんじゃないか。最後の部分、友達口調のままですみません。これは、わたしの主張に対して送られた部分です。ところで先生、**ホームページのアクセス数、8万を超えましたね。**

[b] from 郡司 裕(2月14日到着)

さっそく答申案をよませていただきました。市大の存在意義がまったくないかのように断じた橋爪私案とくらべ、さすがに実績を評価し、存在意義を認めたものとなっていることは重要な変化だと思いました。でも、後半の『改革案』部分は、橋爪案とほとんど変わっていないことに愕然。つまり存在意義が あろうがなかろうが、「金を出さない」という結論だけは決まっているということがよくわかる内容でした。それを合理化する作文をするためだけに、かくもメチャクチャな人たちがばかりが集められ厚かましくも大学の教育と研究を議論していることに、心底、怒りを感じます。この攻撃をはねかえし、広範な市民と大学の協同による大学改革論議がすすむように、僕も微力ながら役割を果たしたいと思えます。

[c]Matsukawa Yasuo (2月13日到着)

1)「ユネスコ 21 世紀高等教育宣言」では、人類が 21 世紀に直面している課題、例えば平和、資源・エネルギー・環境問題、貧困の克服、を解決するには、人々の知的水準を全般的に向上させることが必要であり、そのために各国政府は誰もが高等教育を享受できる条件を整えるべきである、とうたわれています。横浜市が市大を開いて高等教育の機会均等と機会拡大に努めることは、この宣言に照らせば、まさに国際的要請に沿った国際貢献ではないでしょうか。このための市の支出を「赤字」と呼び、この見直しを主張する御仁の知的水準を疑いたくなります。大型開発で高速道路や箱物をつくるよりもよほど優先順位の高い支出というべきです。

2) 戦争の反省から、学問・研究・教育の健全な発展のためにはその自由が不可欠で、そのために自治と教員の身分保障が憲法・教育基本法・教育公務員特例法で定められているはず。独立法人化はこれを危うくします。先行して独立行政法人とな

った国立試験研究機関の実態を参考にしてください。

3) 1960年から70年にかけて**大学管理法を制定して大学の自治を覆そうとする政府の企てが2度ぐらいありましたが、大学人がこれをはね返してきた歴史と伝統**があります。このことに自信を持ちましょう。

4) 大学の自治が「教授会の自治」になっていませんか。かつての大学紛争では「**大学の自治は教授会のみでなく学生・院生・職員の自由な自治活動によっても支えられる**」との「**全構成員による民主的自治の確認**」にまで到達していることを是非とも想起し、また上記の「ユネスコ宣言」を規範として、市大存続と自己改革の運動を進めて行っていただきたい。

[d] 総合理学の修了生で中澤 恵と申します。 先日はシンポジウムお疲れさまでした。また、ファイルをお送りいただきましてありがとうございます。議事録は後日頂けますでしょうか？ 現状として、「**今後の市の動向予定**」と「**それに対する市大側の動向**」の**タイムテーブル**というものはどのようになっているのでしょうか（すべきことが決まらないうと行程は決定しにくいと思いますが）。市大側としては、いつまでに、何を、どうすべきか、ということがある程度具体的にわかっているようでしたら教えていただきたいのですが。（シンポに遅れて行きましたので聴き損じているかもしれません）

予算の問題：現在の財務状況（具体的な経費の内訳など）ある程度、今後の予算を削減しても稼働できるのかどうか？削減するとしたら市大側ではどの領域か？

教育の問題：「現在の市大側の教育ガイドライン」と「今後の具体的な教育ガイドライン」「あり方塾での具体策」にたいし反対側が考える具体策は何か？賛成できる策があればそれは何か？各教員の意見を具体的に。

在学生の市大の教育において求めているものが何か（これはHPでだいたいわかりませんが）

OB,OGが市大教育において改革が必要と感じたこと要望があるか？：社会の一員として企業なり家庭なりにおいて実際に求める必要とされる人材は具体的に何を学んでいる学生と感じているか？

上記について専門的な見解ではなくてよいので、おおまかな意見を知りたいと思いますが、どこかに提示されていますでしょうか？（HPの内容では情報が細かく要を得ないので）。**市大側としてはただ単に「現状維持」を希望しているのでしょうか？**

教育方法は時代の流れで変化するものと私は考えます。また「大学」の位置づけもわかりで、アメリカやドイツに追従する必要もなく日本の横浜の「大学」であれば良いと思います。そのための特徴づけを具体的にすることです。

お手数をおかけしますが、先日のシンポ参加者の意見もあわせまとめた議事録を頂けますと幸いです。いただいた資料をまだ熟読しておりませんので、質問に落ち度があるかもしれませんが宜しくお願い申し上げます。3月になりますと多少仕事にも余裕ができますので、必要があれば雑務などお手伝いができるかと存じます。

[e] 商学部卒業生 千野祐輔(2月12日到着)

議事録ありがとうございました。弊社には15名程度、提携先のT社にもほぼ同数のOBがおりますので、現在市大に何が起きているのかをメールで知らせたところ、皆ビックリしたとの反応があり、早速議事録を回覧させていただくこととしました。とりあえず我々は市大、市当局、進交会のホームページの意見欄などに夫々の思いを訴えることをはじめることとしました。

次号予告 [3] 2月8日「緊急シンポジウム - 市大の将来を考える」に寄せられた文書発言 (Part 2.)

編集発行人: 矢吹晋(暫定)

e-mail: yabuki@ca2.so-net.ne.jp

<http://www2.big.or.jp/~yabuki>
